

【めむろ未来ミーティング日程 10】

令和2年 1 月 16 日 (木)

10:00～11:17

栄コミュニティセンター

■参加者 18 人

■芽室町 副町長、総務課長、農林課長補佐、建設都市整備課長補佐

■記 録 池田

■対応・検討が必要な事項

- ①地域ごとの舗装率の件（建設都市整備課）
- ②バス停撤去の件（学校教育課）
- ③地域福祉館建替に係る資源ごみ箱の件（住民生活課、総務課）
- ④農村部の回覧の件（企画財政課）
- ⑤大型ごみ等の周知の件（住民生活課）
- ⑥スクールバス時間変更の件（学校教育課）
- ⑦ペレット工場の今後の件（企画財政課）
- ⑧コミセン付近の資材撤去の件（企画財政課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
『公共施設の配置構想』
- 4 意見交換

【意見】

町道の舗装化について。栄地区は南北、東西に正方形の地区である。夏自転車で色んな地区へ行くが上伏古や報国あたりは全部舗装されている。幹線道路は整備されているが他はされていないところがたくさんある。それを個人的に言ってもなかなか舗装されないと思う。なので計画的に舗装、整備やってほしい。

【意見】

同じ意見で、栄は舗装率が他と比べ少ないと思うので是非お願いしたい。

【意見】

舗装率について、建設都市整備課で数字つかんでいるかわからないが、町道に対して栄地区の舗装率は何パーセントか①また、町全域の町道に対して舗装、簡易舗装を含めた舗装率が何パーセントなのか役場の方でつかんでいるのか聞きたい。

【意見】

除雪に関して、町の方は0時頃から始まり、農村部は6時頃に始まる話を聞く。農村部は学校や保育所に送るのでその時間に間に合わないので自身のトラクターショベルで主要幹線まで除雪して送迎していることがある。昔より職員の方の出勤も早くなっているが、車両台数を増やすとか、民間の車両を借りるだとか今より増やして送迎に間に合うようにしてほしい。

除雪後の主要交差点の圧雪になっており、滑って止まれないので、圧雪後の対応をお願いしたい。表面を薄くした後、砂を撒いてほしい。中伏古1線2線は毎年車落ちているのでそこも併せてお願いしたい。

【意見】

道路標識について、4線8号のところの長方形の標識が倒れていてそのまま。

また、2線5号の昔のバス停も撤去してほしい②。

そして、栄9号6線の表示も曲がっているので点検して直してほしい。

【建設都市整備課長補佐】

除雪について、1時から市街地を除雪した後、郊外地をしている。優先順位としてスクールバスをやっているが、雪の量など場合によっては時間に間に合わないことがあるかもしれないので工夫していかなければならない。委託の車を増やしていくのはな

かなか担い手が足りないのが難しい部分もあるが今後とも検討して研究していく。

併せて交差点について、止まらない箇所についてどのようなやり方がいいか研究していきたいのと、そのような箇所については重点的に砂と塩カルを混ぜて撒いている状況だが、厚く撒くなど工夫して進めていきたい。

道路全体の現在の町の考えについて、平成30年度に道路マスタープランというものを町で策定している。その中で産業軸・観光軸・生活軸など広域道路に繋がる部分は限られた財源の中で優先的に整備していきたいという考えのもとこの策定では位置づけして現在進めようとしている。その中で広域に繋がる道路だとか地域の主要となる道路は現在舗装になっているが、最近では痛み、わだち、路肩落ちなどひどくなってきているので重点的に整備していく。

そして、農家住宅に接続するような道路は、一気にできないが現地を確認して道路整備5か年計画というものに位置付けして、計画的に工事を進めていく。次に舗装率は町内全域の町道でいうと、59.3%になっている。地域ごとの数値は後日回答させていただく。

また、標識やスノーポール等が曲がっているなどのご連絡いただき、現地を確認し、直したりしているが通常のパトロールで発見した際も対応しているので今後も継続する。

栄9号6線や、案内看板等も維持管理の中で適宜直していく。全体的に道路の悪いところについてはパトロールでパッチングという舗装を張るような対応をし、通行者に迷惑がかからないように修繕を進めているので継続する。

【副町長】

全体的な補足として除雪は早くきれいにやりたいと思っているが、今車両はあるがオペレーターが不足している状況。今年採用したオペレーターでいうと管外の旭川の米農家の方が冬に茅室に来ていただいております、そうでもないかと人が確保できない状況。民間の重機を借り上げもして、民間もオペレーターがいなくて人材不足の状況。除雪だけではなく部

分も整理していく。これは町としても大きな課題だと捉えている。

バス停の話について、教育委員会が設置したバス停であれば撤去できるが、もしかすると地域の方が設置したバス停であれば看板は外せるが他の部分は町では関与できないところである。この話は教育委員会に伝えるが、地域で作ったのであれば地域にお願いしないといけないと思っている。

道路整備については、どこの会場でも出る話になるが、見てわかるとおり痛みと更新が追い付いていない状況。昭和40～50年代にかけてまずは舗装の延長を伸ばすことを主眼に、うすい舗装で、ただ延長を稼ぐというのをやってきていた。現在それが一斉に更新の時期を迎えている。道路を走るとわかる通り、穴にタイヤが挟まりホイールが壊れたなどのことが増えてきている。その修理と新たにリニューアルしていくところの経費をみても全然老朽度に追い付かない状態。そのバランスも考えながら進めていく。いただいた意見は台帳にきちんと残っているのだが、やはり順番があるので一定の理解をお願いしたい。

そして、路面整正はできるところはやっていきたい。昨年末の雨でテカテカになって、町内の色んなところから砂を撒いてほしいと依頼があった。特殊な事例も含めてパトロールしながら交通事故の抑制にも努めていきたい。

【意見】

この地域も高齢者が増えて、免許を返納する人も増える。その免許返納後の農村の足の問題について、町では何か考えあるのか。

町営住宅の空き地について、草がすごい。シニアで働いていてその草を刈っているが、空き缶とか空き瓶など色々捨てられている。そういう風になっているから捨てられるので、綺麗にしていれば捨てると思う。

【副町長】

免許返納について、市街地のようにじゃがバスのようなもので対応できれば1番いいが、現実的に、

経費や利用者などを考えると難しいところである。農村部の方の希望はきっと、家の前で乗り、家の前で降りる。そして、好きな時間に行き来できるということをやえとすればタクシーしかない。

去年の秋にもやったが再度2月にもモニターで試してみるということで、町までタクシーを利用した場合、半額助成券を町から補助する。例えば週1回分の券を渡す助成をしてやってみる。大正では、デマンド交通という、予約制の乗り合いタクシーみたいなものを運行している。地域の中で4、5人集まればジャンボタクシー、バスが来て回るという制度はあるが、迎えは回ってくれるが、降りる所は1か所に限定される。また、帰る際も降りたところの1か所から乗り、家は各家を回る制度である。使い勝手では難しいかもしれない。現在、町ではタクシーを上手く利用してもらいたいと思っている。タクシーはお金がかかるというイメージがあるかもしれないが、自家用車1台1年間保有し、保険や燃料、車検等のコストと比較すると車を保有する方が高いかもしれない。同じようなやり方を鹿追でやっているがそちらの事例も参考にしながら検討していきたい。

町営住宅の件。町営住宅の住んでいないところ周辺の環境整備は手が追いつかない状況。町としても公営住宅の管理戸数を極端に減らしたいと考えている。というのは、民間のマンションが結構あり、本当に住宅に困っている方の住宅は一定程度整理されてきている。そういうところはもう廃止、解体して、違う土地利用をしていく方がいいのではないかという話をしている。それから、管理する戸数を減らせば草の関係も一定程度解消されると思う。そうは言っても管理責任は町にあるのでそこは担当に指示し、できる範囲でやっていく。

【意見】

タクシー助成の関係のモニターには年齢制限はないのか。

【副町長】

現在の区切りは高齢者ということになり、65歳以上。そこは身体の状態や家庭の状況など関係なく

行っていきたいと思っている。

【意見】

菖蒲園をまとめるというか、聞いた話だとシニアワークセンターに一任するからやってほしいという事を聞いた。ベテランの方が専属にいないとなかなか大変。それと、公園の臨時管理の人が予定より早く勤務が終わることもあると思う。

【副町長】

菖蒲園については、28年の台風で半分以上流れてしまって、今再生に向けて新しい株を買いながら再整備しているところ。先ほどの公共施設の中でも話したが、ピウカ公園という2線から国道までピウカ川沿いの堤防の上を歩いて河川敷に上れるような想定をしていて、それに合わせて正面も整理していきたいと考えている。ただ、それを管理する人の問題も、先ほどのオペレーターと同じで募集しても作業員が来ないなどの状況を見据えた上で、シニアワークセンターにお願いできないかという経過がある。ただ、受け手の事情もあるので話し合いをしながら役割をお互い分担しながらやっていきたいと思う。

【意見】

地域福祉館の建て替えで、資源ごみのごみ箱が移動された。そのあと、保育所と教員住宅を取り壊したときに資源ごみのごみ箱が壊れた。扉がねじれてスムーズに開け閉めできない状態。間違いなく建設業者が壊したので何とかしてほしいとお願いしたらしばらく返答がなくて、住民の方からも危ないと言われ再度業者に問い合わせたら業者は壊していないと言い、役場は予算がないから地元で対応してもらうか、買い替えるなら助成金はあると言われた。結果的に直すということになり、地域で直した。そうした対応はどうなのか③。

また、回覧文書について。市街地はいいと思うが農村はそぐわないのでなにか違う対応をお願いしたい④。

そして、区長について。区長になるための資格条

件等なにかあるのか。

次に、個人的に燃えるゴミ燃えないゴミ資源ゴミがあるが、週に1回車で収集してもらう場所に運んでいるのだがそれぞれではなく、一度にすれば効率的かもしれない。

【副町長】

資源ゴミの回収庫について。現実的には今直し終わっているので遑って整理ということにはならないと思うが、原因者がわかればその方が直すのが筋である。だが、原因者が特定できない状況であれば、そのもっと先の原因者は古い会館を壊すという経営者は町であるので責任をもって対応するのが筋である。ごみのことについては住民生活課になり、会館自体については総務課の対応になる。セクションが違い、連絡がうまくいかなかったことに対してお詫びする。いずれにしても、今後そういうことがあった場合きちんと対応していく。また、直した修繕費用も含めてどのような対応ができるか改めて検討させていただきたい。

回覧文書の件について。これは仰るとおりである。今の時代、紙で各戸に回すのは難しい状況。栄だけではないが、情報伝達の方法も考える時期に来ていると思う。以前企画の部署にて、農村ブロードバンドを担当していた時に農協さんのファックスが老朽化していて全て更新するような話も少し聞いていた。今はメールやスマホを多く使用しているので上手くそれを利用して情報伝達できないかと考えていた経過がある。なので、農村地区への情報伝達の方法を考えていきたい。

区長の資格条件について。正確な資格条件はない。ただ、区長に直接役場の方から連絡をしなければいけない案件がでた場合、町外だと厳しいが、町内にいる方という風になると思う。ただ、絶対だめということではないが地域がそれでいいとなればそれは認める。理想は地域に住まれている方がいいと思う。農家の方で、普段は町に住んでいる方は、連合会だとか農事組合だとか色んな組織に入っている方はたくさんいらっしゃる。その方が順番に区長だといった時に市街地にいるので受けられないというのは役

場側という区長の資格条件としてダメとはならない。なので、地域の中で上手く話し合いをしていくしかないと思う。

ごみ収集の問題。どうしても各家の前を回る時間や、台数に限りがあったりというのを含めるとある程度一定の場所に皆さんに持ち寄って集めてもらうのが1番現実的だと思う。ただ、これも課題だが、今の分別の数。こんな細かく分別しなくていいのではないかという意見を多数いただいている。しかも、茅室と帯広の分別の仕方が違う。そして、今くりりんセンターの建て替えの計画もあるのでそこに合わせて茅室の分別を見直した方がいいと内部で検討している。分別できればそれに越したことはないが、それが苦痛になってしまうと困るので、そこはもう少し時間いただきたい。

【意見】

今ごみ分別についての関連。栄地区のごみ収集箇所は3か所ある。どこの場所でもうまく分別がされていなくて業者がシールを張って、3、4週間経つと回収していくような状態。役場は広報やチラシなどで分別のことについて記載されているがもっと宣伝というか対応してより分別が上手くいくようにしてもらいたい。

それに合わせて、大型家電などのごみについて。その処分の仕方も併せて広報などで知らせてほしい
⑤

【意見】

ごみ関連で。ごみの分別はこうすればいいという内容の講習があれば行っていただきたい。

【副町長】

分別を1番最初にしていた当時は各地域に役場の担当が出向き説明をしていた経過がある。その時から時間も経っているし、思い込みで判断していることが、時代とともに分別が変わっていきなりする。

また、家電リサイクル法が新たにでき、直接役場等で受けられなく、電気屋さんでないと受け取れない状況になっている。また、町が粗大ごみのシール

を買って張ってくれば回収していける。色んなパターンがあるので、集まりなどがある際は役場のごみ担当が出向き説明もできる。改めてその機会を作ることと、分別方法を張りだしたりなど必要と思うので改めて検討する。くりりんセンターは色んな場所からごみを受け入れているが芽室は評価が高い。資源ゴミにできるものはリサイクルに回しているが、それが苦痛になっては元も子もないので見直していきたい。

【意見】

中学校のスクールバスについて。5時45分頃のバスがあるが、あまり乗っていない。夕方6時半～7時頃になると迎えの車がたくさんいる状態。なので、バスの時間を変更できないのか⑥。

【副町長】

その話はよく聞く。1番最後に降りる子どもの時間を考えダイヤ設定している。とは言っても、部活によって終わる時間がバラバラである。なので、部に合わせたバスの時間設定は難しい。教育委員会に改めて親が送迎しなくて良いバス運行ができないか話をする。

【意見】

昔のバス停について。昔PTA会長をやっていた時に撤去してほしいと要望していた。だが、その後起こった災害により話が流れてしまった②。

また、芽室には総合体育館や健康プラザなど素晴らしい施設があるので、少年団や部活の子たちに役にたつようスポーツ選手を呼んだり等もっと増やしてあげてほしい。

【副町長】

バス停については、先ほどと関連するので、併せて教育委員会に確認する。

新しい町長になって、『一流を見て・聴いて・学ぶ』ということで、実際のプロと言われている方を呼んで子どもたちに刺激を与えることを進めている。日本ハムやコンサドーレ、バレーでいうとヴォアレス

など1回きりではなく繋げていきたいと思っている。また、競技種目も増やしていきたいと考えている。もし、競技に関わっている方でその上の方と繋がりがあれば逆に紹介していただき繋がりをもってきたい。

【意見】

この近くにペレット燃料の試験工場があるが、当初3年だと聞いていた。また、その関係の話を広報で見た。そこら辺の話を伺いたい。また、施設がどうなるのかも併せて聞きたい⑦。

【副町長】

長芋のネットと小豆殻をペレットにして、燃料にしようというのは技術的には確立している。だが、それを収集するコストやペレット工場を作るコストを考えたときに非常に難しいだろうということで、町としては断念した経過がある。また、小豆殻も当初は畑にすきこめない話になっていたが、今は品種も変わり、すきこんだりしている状況。長芋のネットはプラスチックでそれだけを固めるとそれに対応できるボイラーというのが難しいので、それに対して緩衝材として繊維質を加えようということで小豆殻を考えた。でも小豆殻が厳しいので28年の台風ででた河川流木を利用してできないかということになった。ただそれも最終的にコストの部分が問題になり断念した。

この施設のボイラーを開発している業者がボイラーの中の燃焼の割合をテストしたいということになった。元々芽室でペレットを作っていたことがあり、地理的に1番近い場所でないかということでここになった。当初は3年と言っていた。ただ、もう3、4年は経っているので改めていつまでやるのか確認してみる。

【意見】

去年の未来ミーティングの時に今の話をして、おそらくもう終わる時期だと思う。この近くに置いてあるガラクタを使わないものだと聞いていたので片付けてほしいと要望した。まだ片付いていない⑧の

で、もし時期がまだ伸びるようであればこれだけでも片付けてほしい。

11:17 終了

【副町長】

了解した。



⑧資材写真



③修理した資源ごみ回収庫